

# プログラム

9:00～9:30	中部支部例会参加登録
9:25～9:30	例会開会・支部長挨拶
9:30～10:30	一般演題(OHPIによる口頭発表)
10:40～13:10	シンポジウム「ポストゲノム時代の修飾タンパク質研究」 (座長: 森山 昭彦)
S1: 蛋白質複合体の翻訳後修飾のプロテオーム解析	平野 久(横浜市立大学・大学院国際総合科学研究科)
S2: 多様な生命現象を制御するタンパク質アセチル化とそのネットワーク	吉田 稔(理化学研究所・基幹研究所)
S3: 糖鎖修飾と細胞認識	神奈木 玲児(愛知県がんセンター・分子病態学部)
S4: 膜型増殖因子のEctodomain shedding-分子機構から生理機能まで	東山 繁樹(愛媛大学・大学院医学系研究科)
S5: オートファジーの役割と制御機構	水島 昇(東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科)
13:10～14:20	昼食
14:20～16:20	一般演題(ポスター討論)
1. 金属イオン応答性DNA結合タンパク質の構築及び認識配列による影響	村瀬 茂雄(名工大・院工・物質工)
2. 新規設計ブルー銅タンパク質に導入したアミノ酸軸配位子の影響	濱野 裕輔(名工大・院工・物質工)
3. シロイヌナズナのアントシアニン色素の発色特性と、それを利用した膜輸送体遺伝子の探索	佐古 建志(名大院・生命農)
4. シロイヌナズナ新規カチオン結合タンパク質AtPCaP2は細胞特異的に発現し細胞膜に結合する	加藤 真理子(名大院・生命農)
5. シロイヌナズナの新規低分子RNAの機能解析	呉 娟(名古屋市大・院システム自然)
6. チンパンジー苦味受容体の種内変異解析	菅原 亨(京都大・霊長研)
7. ニワトリIgYに結合するタンパクのIgY結合領域の解析	坂本 奈央(名古屋女子大・家政学・食物栄養)
8. ヒトIgA結合タンパク質のIgA結合結合領域のファインマッピング	上村 真由(名古屋女子大・院生活学・食物栄養学)
9. ハプテン抗原特異的モノクローナル抗体作製技術の開発	早川 智也(三重大・院工・分子生物学)
10. 蛍光相関分光法によるDNA凝縮転移のハイスループット解析	瀬戸 良輔(三重大・院工・分子素材)
11. Equus caballus (Horse) Methylthioadenosine Phosphorylaseの遺伝子解析と酵素活性の検討	林 海美子(三重大・院医・臨床検査医学)

12. シアル酸転移酵素阻害剤の探索および作用機構

左 一八(静岡県大・薬・生化学)

13. オリゴシアル酸とSiglec-7との相互作用解析

小崎 仁美(名大・院生命農・生命技術科学)

14. 糖タンパク質の輸送に関わるレクチン型カーゴレセプターERGIC-53およびCa<sup>2+</sup>結合型タンパク質 MCFD2の相互作用様式の構造解析

西尾 美穂(名市大・院薬)

15. ヒトcalpain 7とhIST1の相互作用領域の決定

前本 佑樹(名大・院生命農・応用分子生命)

16. ESCRT- I 構成因子VPS37Cにおけるカルシウム結合タンパク質ALG-2の相互作用領域

大杉 桂奈江(名大・院生命農・応用分子生命)

17. ヒトのL-キシルロース還元酵素の活性調節に重要なジスルフィド結合

遠藤 智史(岐葉大)

18. 高次構造に基づく20 $\alpha$ -ヒドロキシステロイド脱水素酵素阻害剤の合成・評価

曾田 翠(岐葉大)

19. マイトマイシンC誘発ヒト胃癌細胞傷害に対する5-フルオロウラシルの併用効果

松永 俊之(岐阜薬大・生化)

20. レニンが触媒する酸性域と塩基性域の2つの反応はどちらも保存された2つのAsp残基により触媒される

平工 達也(岐阜大・応用生物・応用生化学)

21. ヒトレニンのSer230とSer233は塩基性域において触媒Asp側鎖のpKaを上昇させている

川本 周平(岐阜大・応用生物・応用生化学)

22. 障害血管内皮細胞における組織因子発現に及ぼすギャップ結合阻害剤の影響

市川 翔子(三重大・院医・分子病態学)

23. 血液凝固と血小板凝集におけるギャップ結合蛋白の役割に関する基礎的検討

長岡 伸征(三重大・院医・分子病態学)

24. 分子異常プロテインC (PC)-Tottoriの活性発現異常機構の解析

奥山 友紀(三重大・院医・分子病態学)

25. シーディングによるプリオン蛋白質のアミロイド線維の伝播

山口 圭一(岐阜大・人獣・プリオン)

26. ヘパラン硫酸多硫酸化ドメインのアルツハイマー病モデルマウス脳内における発現解析

細野 友美(国立長寿寿医療セ)

27. ノックアウトマウスを用いた新規遺伝子fad104の機能解析

岸本 圭史(名市大・院薬・分子生物)

28. トランスジェニックニワトリによる蛋白質医薬品の生産  
-ガラクトース転移酵素導入によるN型糖鎖の改善-

水谷 昭文(名大・院工・生物機能)

29. DNA損傷時におけるPc2によるCUL4-DDB複合体の安定化とヒストンH4ユビキチン化の増加

金岡 英徳(名大・院工・生物機能)

30. モロニーマウス白血病ウイルス(MoMLV)インテグラーゼにおけるSUMO化修飾の解析

稲吉 勇仁(名大・院工・生物機能)

31. クロマチンリモデリング因子BRM及びBRG1遺伝子の発現制御領域解析

伊藤 俊成(名大・院工・生物機能)

32. 出芽酵母H2A-H2B複合体の分子解剖:FACTがヒストンH2A/H2Bダイナミクスを担う  
加藤 麻希(名市大・院システム自然)
33. X線小角散乱法による、gelsolin、villinのCa<sup>2+</sup>結合に伴う構造変化の解析  
諸橋 真先(岐阜大・院工・生命工学)
34. 細菌べん毛モーター固定子蛋白質MotBのペリプラズムドメインの結晶構造解析  
小嶋 誠司(名大・院理・生命理学)
35. 外膜リポタンパク質Palのペプチドグリカン結合(PGB)ドメインは大腸菌べん毛モータータンパク質MotBのPGBドメインとしても機能する  
檜作 洋平(名大・院理・生命理学)
36. 海洋性細菌Vibrio alginolyticusべん毛モータータンパク質PomA-FliG間相互作用の解析  
吉住 玲(名大・院理・生命理学)
37. センサリーロドプシンIの機能解明に向けて、真正細菌からの2光子受容・2機能性光センサー蛋白質の単離と解析  
鈴木 大介(名大・院理・生命理学)
38. Structure of st0929, a putative glycosyl transferase from *Sulfolobus tokodaii*  
Cielo Charles B.C.(名大・院工)
39. In vivo部位特異的光架橋法を用いたミトコンドリア内膜透過装置構成因子Tim44の相互作用解析  
金谷 茂之(名大・院理・生命理学/物質理学)
40. 小胞体関連分解(ERAD)における基質認識機構の解析 ~異常なドメインの位置の重要性~  
井澤 俊明(名大・院理・生命理学/物質理学)
41. マボヤ精子20Sプロテアソームのサブユニット構成に関する研究  
片岡 陽平(名大・院理・生命理学)
42. プロテオーム解析から明らかになったカタユウレイボヤ卵黄膜の構成成分と自家不和合性分子  
齋藤 貴子(名大・院理・生命理学)
43. インタラクトーム解析のための免疫沈降-ショットガンLC-MS/MS法の開発  
西岡 朋生(名大・院医・神経情報薬理学)
44. Proteomic analysis of Dysbindin-interacting molecules  
Yasutaka Fujino(名大・院医・神経情報薬理学)
45. Targeting of Tiam1 to Focal Adhesion through Talin for Polarized Cell Migration  
Shujie Wang(名大・院医・神経情報薬理学)
46. PAR-3 regulates directional migration through PI3K  
Shin Fujisue(名大・院医・神経情報薬理学)
47. Insulin-like growth factor 2 (IGF2)が微小環境の調節を介して破骨細胞形成に及ぼす影響  
中尾公久(愛知学院大・歯学・歯科矯正学)
48. 白色・褐色脂肪細胞の分化過程に及ぼすTGF $\beta$ の効果の相違  
林 秀敏(名市大・院薬)
49. ストレス誘導性pseudokinase TRB3のT細胞分化に及ぼす影響  
西仲 駿(名市大・院薬)